

問題 3.7, (1) $X^3 - 7X - 6 = 0$.

(解) カルダノの公式より

$$\sqrt[3]{3 + \frac{10}{9}\sqrt{-3}} + \sqrt[3]{3 - \frac{10}{9}\sqrt{-3}} = \frac{\sqrt[3]{81 + 30\sqrt{-3}}}{3} + \frac{\sqrt[3]{81 - 30\sqrt{-3}}}{3}$$

が根のひとつ. ボンベリの方法で $\sqrt[3]{81 + 30\sqrt{-3}} = -3 + 2\sqrt{-3}$, $\sqrt[3]{81 - 30\sqrt{-3}} = -3 - 2\sqrt{-3}$ がわかるから, 上の根は -2 である. (実際には, 目の子で因数分解 $X^3 - 7X - 6 = (X + 1)(X + 2)(X - 3)$ を見つけるほうが早い.)

問題 4.3, (3) $X^4 + 4X^3 + 8X^2 + 4X + 7 = 0$.

(解) これも因数分解 $X^4 + 4X^3 + 8X^2 + 4X + 7 = (X^2 + 1)(X^2 + 4X + 7)$ を見つけるほうが早いだろうけれど... まずカルダノ変換で $(X + 1)^4 + 2(X + 1)^2 - 4(X + 1) + 8 = 0$ とする. 「巡回行列」項に従えば c_2^2 の 3 次方程式 $c_2^6 + c_2^4 - (7/4)c_2^2 - 1/4 = 0$ を解く必要が生じる. これも目の子で $c_2^2 = 1$ が見つかるけれども, それに気がつかないと仮定して, まともに解いてみる. カルダノ変換によって

$$\left(c_2^2 + \frac{1}{3}\right)^3 - \frac{5^2}{2^2 \cdot 3} \left(c_2^2 + \frac{1}{3}\right) + \frac{11}{3^3} = 0$$

と変形すると, カルダノの公式より根のひとつは

$$\sqrt[3]{-\frac{11}{2 \cdot 3^3} + \frac{13}{2^3 \cdot 3}\sqrt{-1}} + \sqrt[3]{-\frac{11}{2 \cdot 3^3} - \frac{13}{2^3 \cdot 3}\sqrt{-1}} = \frac{1}{6}\sqrt[3]{-44 + 117\sqrt{-1}} + \frac{1}{6}\sqrt[3]{-44 - 117\sqrt{-1}}$$

である. ボンベリの方法を使うと

$$\sqrt[3]{-44 + 117\sqrt{-1}} = \frac{2}{3} + \frac{\sqrt{-1}}{2}, \quad \sqrt[3]{-44 - 117\sqrt{-1}} = \frac{2}{3} - \frac{\sqrt{-1}}{2}$$

がわかる. このとき $c_2^2 + 1/3 = 4/3$ より $c_2 = \pm 1$ である. c_1, c_2, c_3 はひと組見つければ良いから,

$$c_1 = \frac{\sqrt{3} + \sqrt{-1}}{2}, \quad c_2 = 1, \quad c_3 = \frac{-\sqrt{3} + \sqrt{-1}}{2}$$

として良く,

$$\varphi(t) = \frac{\sqrt{3} + \sqrt{-1}}{2}t + t^2 + \frac{-\sqrt{3} + \sqrt{-1}}{2}t^3$$

より $X + 1 = \varphi(1), \varphi(\sqrt{-1}), \varphi(-1), \varphi(-\sqrt{-1})$. すなわち $\sqrt{-1}, -2 + \sqrt{-3}, -\sqrt{-1}, -2 - \sqrt{-3}$ である.

ボンベリの方法を使う箇所では, 次の定理を使うと計算が楽になる場合が多い.

定理 a, b は共に有理数で, $\sqrt[3]{a^2 - b}$ も有理数だと仮定する. 3 次方程式

$$4X^3 - 3(\sqrt[3]{a^2 - b})X = a$$

が有理数の根 $X = u$ をもつとき, $v = u^2 - \sqrt[3]{a^2 - b}$ とおけば

$$\sqrt[3]{a + \sqrt{b}} = u + \sqrt{v}, \quad \sqrt[3]{a - \sqrt{b}} = u - \sqrt{v}$$

が成立する.